

令和5年度学力向上への取組に関する評価報告書

1 学習意欲・態度（の向上）について

- 主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくりや、自分・仲間・教材とつながるための1人1台端末の効果的な活用について研究を進めたことで、意欲的に学習に取り組む児童が増えた。
- 配慮を要する児童についての情報交換を必要に応じて行い、教職員がサポートし合う環境づくりに取り組んだ。授業者が授業に集中できるようになったことで、児童の学習態度も良くなってきた。また、中学校教員から6年生に中学校での学習について話をしていただき、児童は目標や見通しを持って学習に取り組むことができた。

	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった
授業中、先生や友達の話最後までしっかり聞いていますか。	50.4%	43.7%	5.5%	0.4%

児童アンケート（12月）

2 授業改善について

- 日々の授業や研究授業で発問や問い返し等の工夫を行うことで、児童の発言を授業に生かしたり、児童と児童の考えをつなげたりすることができた。
- 児童が自分の意見を伝え合う場面において1人1台端末を活用するよう、授業展開を考え実践した。具体的な実践例を紹介し、共有することで活用の機会が増え、児童の操作スキルも高まってきた。しかし、学習規律の面において課題があるため、次年度以降も継続した指導が必要である。

	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった
学校の勉強は、よく分かりますか。	50.4%	43.3%	5.9%	0.4%

児童アンケート（12月）

3 家庭学習の習慣化について

- 学期の終わりに実施する漢字と計算のチャレンジテストにおいて、パーフェクト賞や努力賞などを設けることで、家庭学習に取り組む児童が増えた。
- 家庭学習強化週間を設定し取り寄せたことで、子どもも保護者も自主学習への関心が高まり、昨年度よりも家庭学習に対する取組が向上した。

	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった
家での学習（宿題や自主勉強）をがんばっていますか。	40.3%	37.0%	17.2%	5.5%

児童アンケート（12月）

	できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった
お子さんに宿題や自主勉強などの家庭での学習習慣が身に付くよう、働き掛けていますか。	34.2%	53.8%	12.0%	0%

保護者アンケート（12月）